

## 連結財政状態計算書分析

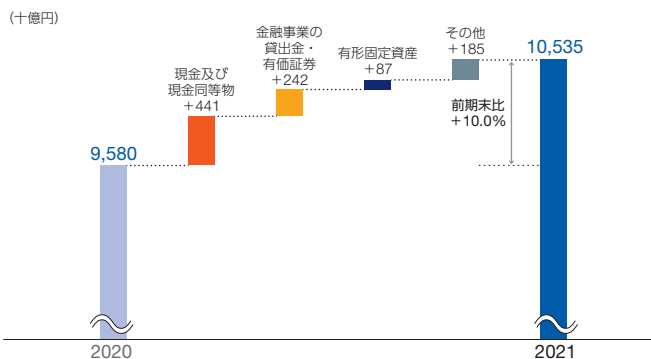
(3月31日に終了した各決算期)

### 資産

10兆5,353億円

[前期末比] 9,552億円増

住宅ローンの債権流動化により、現金及び現金同等物および金融事業の貸出金等が増加したことが起因し、資産は前期末比9,552億円増となる10兆5,353億円となりました。

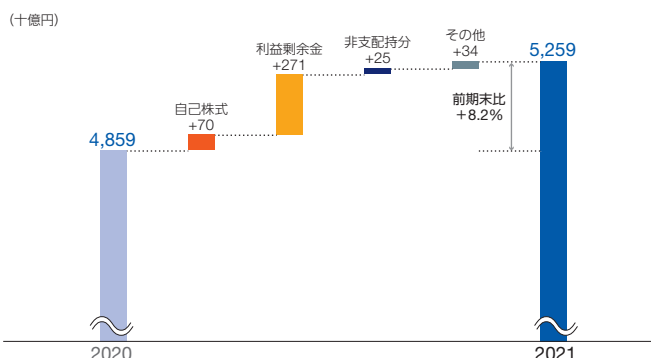


### 資本

5兆2,595億円

[前期末比] 4,004億円増

自己株式の取得はあったものの、当期利益の増加に伴う利益剰余金の増加や非支配持分の増加などにより、資本は前期末比4,004億円増となる5兆2,595億円となりました。



### 有利子負債

1兆6,455億円

[前期末比] 349億円減

社債や借入金の減少などにより、有利子負債は前期末比349億円減となる1兆6,455億円となりました。

### D/Eレシオ

0.35倍

[前期末比] 0.04pt減

有利子負債の減少に加え、利益剰余金の増加に伴い親会社の所有者に帰属する持分が増加したことにより、D/Eレシオは前期末比0.04pt減となる0.35倍となりました。